

河童の昔ばなしを アニメ化

佐田の七不思議の一つとして
地域の歴史と民俗を伝承

美浜町佐田地区に伝わる民話、「河童の詫び証文」が2021年12月アニメ化され、話題となっています。

「河童の詫び証文」は、佐田地区を流れる金瀬川の河口が舞台。おじいさんが牛を洗っていると、水の中から河童が現れて牛の「尻子玉」を抜こうとしたので縄で縛り、二度と悪さをしないとという証文を書かせました。すると翌朝、おじいさんの家の前に一枚の証文と魚が置かれていて…というストーリーです。



「河童の詫び証文」の舞台と伝わる金瀬川河口を案内してくださった佐田伝統文化保存会の金田顧問。日本地名研究所の所長でもあり、民俗学に造詣が深い。



ドローンで空撮した金瀬川河口付近。金瀬川から清流が注ぐ海岸沿いは、海水浴場としても親しまれています。



「美浜のむかしばなし」(1982年/美浜町教育委員会発行)にも「河童の詫び証文」の話が収録されています。

「海ノ民話のまちプロジェクト」の一環として県内初のアニメ化
「河童の詫び証文」のアニメ化は、日本財団が推進する「海ノ民話のまちプロジェクト」の一環として実現しました。同プロジェクトでは2020年度までに全国各地に伝わる17の民話をアニメ化しています。「河童の詫び証文」は、2021年度のアニメ化事業に採択され、同事業でのアニメ化は県内初となります。アニメ監督・プロデューサーらとの打ち合わせには、金田顧問をはじめとする同保存会のメンバーも参加。地元の方言や朝日の登る方角など、地元住民の視点から助言を行いました。

アニメは2021年7月から制作を開始し、12月に完成。1月26日には美浜町役場で関係者向けの試写が行われました。鑑賞した美浜町長は「子どもたちが民話に触れる機会となるいい作品を作っていたら」とコメント。評判は上々です。

アニメ化を機に地域おこしのアイデアも活発に

アニメは2022年3月8日に美浜東小学校で上映し、3月20日からは動画投稿サイト「ユーチューブ」での公開も予定しています。同保存会の事務局長を務める町野芳信さんは、「今後はアニメのDVDを町内会や県内のイベントなどに配布・貸出しし、地域のPRに活用したいです。北陸新幹線開業後の敦賀駅や美浜町にオープン予定の道の駅での上映も考えています」と、アニメを活用した地域おこしに意欲的です。また、アニメに関連した商品開発や河口付近が見渡せるスポットの整備、イルミネーション、イベントへの展開なども構想中。多彩なアイデアがどのような形になるのか、今後の動きにも注目したいです。

この記事に関するお問い合わせ

佐田伝統文化保存会事務局

TEL 080(8695)1440



1月26日の関係者向け試写の様子。美浜町町長や佐田伝統文化保存会の皆さんたちで鑑賞しました。